

1. 受 理 番 号 請願第2号

2. 受 理 年 月 日 令和6年2月20日

3. 請 願 の 件 名

帯状疱疹ワクチン接種助成制度を創設することについて

4. 紹 介 議 員

杉浦 智子、林 まり、柏木 敬友子、小島 義雄、中川 哲也

5. 付 託 委 員 会 教育厚生常任委員会

6. 請 願 趣 旨 別紙のとおり

【別紙】

[請願趣旨]

帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する帯状疱疹ウイルスが再活性化し、発症します。

国内では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。また、神経の損傷によって、その後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障がいが残ることもあります。

ワクチン接種により、発症を予防する有効性は明らかであり、帯状疱疹罹患による深刻な健康被害を未然に防止する取組は重要です。しかし、ワクチン接種費用が高額になることから、接種を諦める高齢者も多いのが現状です。

高齢者の経済的負担を軽減し、社会参加を促し、豊かな高齢社会の実現のため、大津市においても、帯状疱疹ワクチン接種助成制度を創設していただきたく、次の事項を請願します。

[請願事項]

1. 帯状疱疹ワクチン接種助成制度を創設してください。